



# しおかぜ

平成13年1月20日発行(年2回刊)  
 〈教育後援会だより〉  
**しおかぜ**  
 発行/明海大学浦安キャンパス/教育後援会  
 〒279-8550 千葉県浦安市明海8  
 電話 047-355-5112 FAX 047-355-5117

## 新春座談会

# 21世紀に飛躍する明海大学

## 本学の“ウリ”を追求することが魅力ある大学づくりに

少子化、国際化そして長引く不況という厳しい環境の中で、一般企業だけでなく大学もまた熾烈な生き残り競争を余儀なくされている。グローバルスタンダードの浸透により、日本の社会機能が再構築されつつある中、大学の改革も急がなければならない。21世紀に本学が大きく飛躍するために何が必要か、理事長、学長にお話を伺った。

宮田：一般企業においては、これまでの日本の価値基準から国際基準へつまりグロースで活躍している有為な人材の育成をベースにした、魅力ある大学づくりをしてきたらよいのでしょうか。宮田：本学の魅力は何かとその建学の精神を具現化していくことが、魅力ある大学につながると思っています。中田：大学も市場原理の中にいけないということです。な流れに対応していかないないかと考えています。宮田：私も市場原理の中に生きて行かなくてはならないということになると、



## 国際性豊かな大学へ 言語教育の充実で

宮田：「国際性豊か」を現にするには、まず、世界共通の国際化の重要な側面ですが、明海大学は現在26の外国の大学との交流協定を結んでいます。その中には欧米の大学もあるが、

それから、学生たちには在学中に留学の体験をさせたうえで、そのためには、海外との情報ネットワークの構築と、完全なセメスター制の導入によって、国際的な通用性を求めないとはいけません。お互いに乗り入れられない教育制度ではまずいですから。受け入れた留学生のための教育システムもほとんど充実させて

歴史ある大学と、特色ある力ある大学になるにはどうしたらよいのでしょうか。宮田：本学の魅力は何かという「国際性豊か」、「開かれた大学」、「地域社会への貢献」、「実学重視の教育」ともいってはいないです。宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「国際性豊か」を現にするには、まず、世界共通の国際化の重要な側面ですが、明海大学は現在26の外国の大学との交流協定を結んでいます。その中には欧米の大学もあるが、

それから、学生たちには在学中に留学の体験をさせたうえで、そのためには、海外との情報ネットワークの構築と、完全なセメスター制の導入によって、国際的な通用性を求めないとはいけません。お互いに乗り入れられない教育制度ではまずいですから。受け入れた留学生のための教育システムもほとんど充実させて

■ 出席者 ■■■■■  
 宮田 侑理事長  
 高倉 翔学長  
 稲葉光治教育後援会会長  
 中田俊一教育後援会副会長

かなりアジアの国々を目を向けています。その点で、従来の国際化とは少し違う面からアプローチできるのではないかと、これまで日本の学生が日常的に国際交流の場を作るのも大事です。

稲葉：留学しなくても外国にいるような雰囲気を感じて、学生に関心を持たせるために、英語での授業が

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。



宮田 侑理事長



稲葉光治教育後援会会長

国際化、IT化も当然必要なことで、やらなければは成功したとはいえません。しかし、専門教育と一般教育の区別をやめたことなどは、戦後の一般教育が、もともと悪くなってきた。宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。



高倉 翔学長

## 新たな飛躍をめざして

会長 稲葉光治  
 新たな世紀の新春を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。  
 在学生、卒業生、大学、教職員、父母の皆様にとりまして、祈念いたします。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。

宮田：「開かれた大学」という点では、地域との交流が大きな課題です。大学の財産である知的財産を社会が設置されたことで、外国人教員の教を飛躍的に増大させようという計画が進められています。言葉の教育は国際化への大きな原動力になると思います。



# 国際性豊か、開かれた大学、地域への貢献、実学重視が

## 地域との交流で豊かな人間性を育てよう

ですが、国際化・情報社会に対応できる外国語運用能力と情報処理能力を身につけた上で、高い倫理観、理性コントロール能力、社会貢献の精神という豊かな人間性を持った人間を育てる事が基礎教育の4本柱として当然教えなければいけないことです。その上で、ケイスタグアイ的なことと明海大学が相互協力の協定を結んだようですね。

## 実学重視で問題解決的な教育実現

**高倉**：地域の中の大学、地域との相互協力の関係を樹立しようという、大学の新しいありかたを推進しているという決意のほどを示したものです。

## すべての人が満足できる明海大学へ

**高倉**：よく大学関係者は「オトリナイ・コントロール」をケイスタグアイし、その学と出口(卒業)での管理を言っています。つまり、



という観点で有意義ですし、インターンシップもできるだろうし、ボランティア、経済的な実学の発想です。**高倉**：まず学問の体系ありきというところから始めるのではないかと思います。地域の尊敬と信頼を得られ実から入っていくわけですが、「問題解決」をまずと「問題解決」ということで、意気投合して協定調印ということにたいたわけです。

たいへん良いことだとおもっています。先ほどから一般教育が問題になって

育にスイッチを入れ替えていかなければいけないと思います。かといって理念的なものや軽視しているわけはありません。バランス感覚が必要なのです。

**稲葉**：実学とは実務とインターンシップが使用できること、英語の運用能力を身につけることといった「技能」という部分は、基礎と

学生に対する「オトリナイコントロール」を指すので、私は出口・入り口でなく、その過程つまり道

をいかに高めるかということをお願いしています。その結果、卒業生や父母がどれくらい積極的に取り組んでもらいたいと思います。高い偏見

と、その評価が重要だと思っています。高倉：自分を律する標準軸を1つかり身につけてほしいですね。



中田俊一教育後援会副会長

思いますが、明海大の満足度をアップすることになると思います。

**中田**：ありがとうございます。それで最後、21世紀の明海生へ

**高倉**：教育を通して学生たちの付加価値をいかに高めるかということをお願いしています。

**稲葉**：教育後援会としては、学生の満足度、不満足度を

と、社会的認知度が上がるといえると思います。中田：今日はありがとうございます。2000年12月8日

## 大学のあるまち 浦安 11

## 平成13年春にオープン 『浦安市郷土博物館』

量とも全国に誇れる資料です。この資料は博物館完成後にも引き継ぎ展示されます。また平成12年2月、県の有形民俗文化財に指定された、632点もの舟大工道具も。新しくできる博物館のメインは「情景再現展示」で、市の有形文化財指定の4棟の家

を移築したほか、船宿、木造船を間近で見られる「舟の展示室」も。学校教育と連携し、お年寄り子どもたちなど世代交流できる場として注目されています。

元漁師さんら市民ボランティアと一緒に、年中行事や網作り、貝むきなども体験できるようなっています。このほか、浦安の海や漁

完成後はぜひ見に行ってもよいと思います。とよく知ってもらいために、

「舟の展示室」も。学校教育と連携し、お年寄り子どもたちなど世代交流できる場として注目されています。



道には当時の雰囲気そのままに、貝殻が数きつまられています

「舟の展示室」も。学校教育と連携し、お年寄り子どもたちなど世代交流できる場として注目されています。

元漁師さんら市民ボランティアと一緒に、年中行事や網作り、貝むきなども体験できるようなっています。

完成後はぜひ見に行ってもよいと思います。とよく知ってもらいために、

「舟の展示室」も。学校教育と連携し、お年寄り子どもたちなど世代交流できる場として注目されています。

## のぞいてみよう学生ライフ

加藤さんは社会人学生として不動産学部で学んでいます。現在、打抜紙工業(印刷物の型抜きで主に等身大の高校卒業後ストリートで

の仕事をしています。また、而立するたためには、

から1時になるという、少しでも自立しよう、そして



不動産学部2年 加藤清隆さん

「大学に進学を決めたのは、

「大学のあるまち浦安」にも郷土資料館があり、

「舟の展示室」も。学校教育と連携し、お年寄り子どもたちなど世代交流できる場として注目されています。

完成後はぜひ見に行ってもよいと思います。とよく知ってもらいために、

「舟の展示室」も。学校教育と連携し、お年寄り子どもたちなど世代交流できる場として注目されています。



